

令和6年度第2回 鹿屋市地域包括支援センター運営協議会 会議録

1 日時

令和7年2月14日（金） 15:00～15:50

2 開催方法

集合形式

3 委員出欠

出席委員9人、欠席委員4人

事務局 健康づくり・高齢者対策監、高齢福祉課長、外 高齢福祉課職員
地域包括支援センター長、次長、外 地域包括支援センター職員

4 会議内容

会次第	会議内容
1 開会	
2 健康づくり・高齢者支援対策監挨拶	省 略
3 センター長挨拶	省 略
4 会長挨拶	省 略
5 議事	○下記について、それぞれ資料に基づき報告し、御意見をいただいた。 【議事1】 令和7年度鹿屋市包括的支援事業実施方針(案)について ●承認 ＜質問＞（会長） 鹿屋市の認知症高齢者数、若年層の認知症者数を教えてほしい。 ＜回答＞（鹿屋市） 10月時点の数字になるが、65歳以上の要介護認定者における認知症高齢者の人数は3,900人程度。40歳から64歳以下の要介護認定者における認知症の方が、大体70程度となっている。 ＜質問＞（会長） 包括支援センターでも認知症の相談は入っているか。 ＜回答＞（地域包括支援センター） 認知症、もの忘れ、区別がつかないものなど、ご家族や本人からの相談もある。そのような場合、3職種が対応し、まず病院で判断してもらうことを勧める。診断を受けていただくことを基本に、介護面のフォローを心がけている。 ＜質問＞（委員A） 認知症地域支援推進員は何人ぐらい配置しているか。 ＜回答＞（鹿屋市） 1人配置している。

<質問> (委員A)

若年性(認知症)の問題もあると思われる。把握し差し障りがない範囲で、人数とどのような支援がなされているか教えてほしい。

<回答> (鹿屋市)

人数については70人であるが、要介護認定を受けた方の数値となっている。

支援としては、認定を受けている方は介護給付を受けるほか、若年性認知症であっても仕事ができるなど、なるべく普通の生活ができるような形で、地域の方々や事業所の方々に取組を理解していただけるよう、普及啓発活動に力を入れている。

<回答(補足)> (地域包括支援センター)

認知症地域支援推進員は、今年度まで地域包括支援センターに1人配置している。若年性認知症の支援については、先日、「オレンジ・ランプ」という丹野氏の映画会を開催したほか、商工会議所や商工会、事業主に相談先の案内などの啓発を行ったところであるが、今のところ事業所からの反応は多くないことが現状である。

【議事2】

令和6年度鹿屋市地域包括支援センターの事業方針、予算、職員体制等について

●承認

<質問> (委員A)

虐待が増えていることが気になるが、鹿屋市に限ったことでないと思うが、いわゆる経済的虐待が増えているのか。どのような傾向になっているか。

<回答> (地域包括支援センター)

経済的な虐待が増加している。親、高齢者の年金の使い込みや適切な介護サービス費に使われず、自分たちの生活に充てているケースもある。

<回答(補足)> (鹿屋市)

8050問題のように、高齢者と息子の世帯で、息子から身体的虐待というようなケースもある。介護状態になれば高齢者虐待とは言えないが、そういった事案はもっと増えてきているところである。

<質問> (委員A)

例えばそのようなケースを虐待認定した場合に、息子や娘に何か変化が起きるのか。適正に使うようになることがあるのか。

<回答> (鹿屋市)

息子など子どもへの支援は難しく、引きこもりとなっているケースもあるため、分離が必要な場合、高齢者を施設に入所させるなど支援している。子どもについては、就労支援につなげるなど、何とか自立に向けた支援を検討している。

<回答(補足)> (地域包括支援センター)

8050問題からの経済的虐待は、子どもが精神疾患を抱えているケースが非常に多い。そのため、子どもへの支援として、障がい者基幹相談支援センターや就労支援へつなぎ、生活の見直しを図っている。生活に困窮している場合は生活保護につなげるなど、様々な介入方法を模索しながら、しっかりと自立できるように市と一緒に介入しているところである。

【議事3】

指定介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の一部委託について

●承認

	【議事4】 カスタマーハラスメント対策について ＜質問＞（委員B） 介護予防ケアマネジメントに係る契約であるが、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに係る契約についての解除という位置付けで、他の事業には関係しないということではよろしいか。 ＜回答＞（地域包括支援センター） まず、契約を交わすものは介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントのみである。総合相談等の事業には契約書はないため、仮にハラスメントがあった場合は、ハラスメント対策委員会というものを設置し、鹿屋市と包括支援センターとで介入することとしている。
6 閉会	